

平成 28 年 8 月 31 日

電源開発株式会社

米国エルウッド火力発電所の追加権益取得について

電源開発株式会社(以下、Jパワー、本社：東京都中央区、社長：渡部肇史)は、米国ジョン・ハンコック生命保険会社(John Hancock Life Insurance Company U. S. A.、以下「ハンコック社」と)との合弁会社を通じて、米国大手ガス・電力会社 Dynegy 社の子会社(以下「ダイナジー社」)から米国イリノイ州ウィル郡のエルウッド発電所(135万キロワット、シンプルサイクルガスタービン発電所)を所有するエルウッド・エナジー社の50%権益を追加取得することとしました。これに先立ち、米国現地法人(J-POWER USA Development Co., Ltd.)とダイナジー社との間で権益売買契約書を平成28年(2016年)8月3日付で締結しております。

Jパワーは、平成19年(2007年)1月にエルウッド発電所の一部権益を取得、その後、同年5月にハンコック社との合弁会社を設立し、同社を通じて、エルウッド発電所の50%権益を保有して参りました。今回の権益の追加取得により、Jパワーとハンコック社の合弁会社がエルウッド発電所の100%権益を保有することとなります。なお、本件買収手続きは米国規制当局の承認後に完了します。

エルウッド発電所は北米地域でも信頼性の高い電力市場である PJM^{※1}内に位置しており、今回の買収は、高品質の発電資産の開発・投資を行ってゆく Jパワーの北米事業の方向性と合致しております。Jパワーは今後とも北米事業拡大の機会を探って参ります。

今回の権益取得により Jパワーの北米投資は10プロジェクト、持分出力は約180万キロワットとなります。

Jパワーは、昨年発表した中期経営計画に基づき、自由化の先進市場であり、豊富な事業機会が見込める米国において、多様な販売形態を取り入れながら業容拡大を図るとともに、平成37年度(2025年度)の海外持分出力1,000万キロワットの実現を目指して、海外発電事業を推進して参ります。

※1：米国東部地域における独立系統運用機関(Independent System Operator)で、北米最大の卸電力市場の運営、電力システムの運用を行っている。運営地域はその名の通りペンシルバニア・ニュージャージー・メリーランドから始まり、現在はデラウェア・イリノイ・インディアナ・ケンタッキー・ミシガン・ノースカロライナ・オハイオ・テネシー・バージニア・ウェストバージニア・ワシントン DC も含んでいる。

<添付資料>

1. エルウッド・エナジー発電所の概要
2. Jパワーの海外 IPP プロジェクト一覧